

一般入試（後期）受験にあたっての主な注意事項

（１）試験当日の注意事項

- ① 試験当日は、午前８時４５分から午前９時３０分までの間に本館入口で受付してください。
- ② 受験票と筆記用具（鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム）、弁当、上履きを必ず持参してください。
- ③ 靴（下足）は、靴入れ袋に入れ、終日、各自所持願います。
- ④ 受付が済んだ受験生は、筆記試験会場（本館２階１２１号教室）で待機してください。
- ⑤ 午前９時４５分から注意事項、並びに午後の日程等について説明します。
- ⑥ 試験開始時刻に遅刻した場合には、試験開始時刻後３０分以内の遅刻に限り、受験を認めますが、試験終了時刻の延長は認めません。なお、特別な理由（公共交通機関の遅れ等）の場合には、速やかに、茨城県立農業大学校（TEL029-292-0010）まで連絡してください。
- ⑦ 筆記試験終了後、試験会場は口述試験控室となります。
- ⑧ 昼食後、午後０時５０分には口述試験控室で待機してください。
- ⑨ 午後０時５５分から口述試験の注意事項や日程について説明します。
- ⑩ 午後の試験は、午後１時から始めます。なお、午後１時を過ぎても着席していない場合には、午後の受験を認めません。
- ⑪ 自動車、又はバイク等で試験会場に乗り入れした場合は、係員の指示に従ってください。
- ⑫ 昼食は、口述試験控室で取ることができます。なお、ゴミは各自持ち帰ってください。
- ⑬ 付き添いの方は、待機室として食堂（サービス棟）を利用することができます。

（２）試験時間中の注意事項

- ① 所持品取扱いにおける注意事項
 - ・ 試験時間中、机の上に置けるものは、受験票、鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム、時計（辞書・端末等の機能のあるものは不可）、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（中身だけ）のみです。
 - ・ 定規、コンパス、電卓、そろばん等の補助具や携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類は使用してはいけません。
これらの補助具や電子機器類は、必ず、かばん等にしまってください。なお、電子機器類は、アラームの設定を解除し、電源を切ってください。
- ② 筆記試験における注意事項
 - ・ 解答には、必ず鉛筆（シャープペンシルを含む）及び消しゴムを使用してください。
 - ・ 配布された問題用紙及び解答用紙（原稿用紙）のそれぞれの表頭部に受験番号を記入してください。
 - ・ 問題用紙及び解答用紙は試験終了後に回収します。
 - ・ 試験時間は、必須科目が午前１０時から午前１０時５０分まで、選択科目が午前１１時１０分から午後０時までです。試験開始後３０分間は退出することはできません。

③ 口述試験における注意事項

- ・ 控室から口述試験会場へは誘導員が案内します。控室から移動する際は、全ての荷物を持って退出し、誘導員の指示に従ってください。なお、控室に戻ることはできません。
- ・ 口述試験の会場では、試験委員の指示に従ってください。
- ・ 口述試験待機中の控室での読書は許可しますが、私語は禁止です。また、電子機器類の使用も禁止ですので、必ず、かばん等にしまってください。なお、電子機器類はアラームの設定を解除し電源を切ってください。
- ・ 口述試験終了後は、静粛にして、速やかに退館してください。

④ その他の注意事項

- ・ 試験時間中に試験監督員が整理票の写真と受験者の顔の確認をします。本人確認のため、顔を上げるよう指示することやマスク等を着用している場合には一時的に外すよう指示することがあります。
- ・ 体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合は、黙って手を挙げて試験監督員に知らせ、その指示に従ってください。

⑤ 不正行為について

- ・ 試験時間中及び口述試験待機中に補助具や電子機器類を使用するほか、カンニングやその手助け、試験時間を守らない場合などは不正行為とみなし、その場で受験の中止と退室を指示します。また、受験した成績を無効とします。
- ・ 試験場において試験監督員等の指示に従わない場合や他の受験者の迷惑となる行為をした場合、その他試験の公平性を損なうおそれのある行為をする場合にも不正行為となる場合があります。

(3) 感染症による受験に関する注意事項

- ① インフルエンザ、新型コロナ等の感染症にかかり治癒していない者は、他の受験者等に感染するおそれがあるため受験はできません。
- ② 手指消毒、マスク着用等の基本的感染対策は、自身の判断で適宜実施してください。